

い わ た ふるさと散歩

竜洋編
磐田文化財マップ



掛塚灯台と風竜

天竜川と遠州灘に育まれた風土 竜洋地区の文化財

竜洋地区は磐田市の南西部に位置し、西には天竜川が流れ、南は遠州灘の海岸線が広がる、竜洋という名のとおり天竜川と太平洋に囲まれた水と緑の豊かな地区です。

あばれ天竜の異名をとる天竜川は幾度となく流れを変えたため、竜洋地区には「島」や「瀬」などの地名が多く、天竜川との深い関わりが伺えます。交通手段として渡船も各所で行われており、古くから人々の生活は天竜川とともにありました。

天竜川の中洲であった掛塚は、天竜川河口という立地を生かした港として利用されました。木材などの集積地として、江戸時代は廻船業を中心として栄えた豊かな港町でした。

磐田市概略図



1. 獅子ヶ鼻公園
2. 豊岡駅
3. 杜山城跡
4. 豊岡総合センター
5. 米塚古墳
6. 銚子塚古墳・小銚子塚古墳
7. 長者屋敷遺跡
8. 新豊院山古墳群
9. 磐田市立総合病院
10. 磐田スポーツ交流の里ゆめりあ
11. 磐田インターチェンジ
12. 遠州豊田パーキングエリア
13. 鶴ヶ池
14. 桶ヶ谷沼
15. 甕塚古墳
16. 熊野の長フジ
17. アミューズ豊田
18. 旧赤松家記念館
19. 埋蔵文化財センター・中央図書館
20. 矢奈比売神社(見付天神社)
21. 旧見付学校
22. かぶと塚公園
23. 京見塚古墳
24. 遠江国分寺跡
25. 磐田市役所
26. 府八幡宮
27. 善導寺大クス
28. 城山球場
29. ヤマハスタジアム磐田
30. 香りの博物館
31. 松林山古墳
32. 医王寺
33. 堂山古墳跡
34. 大池
35. 静岡産業大学
36. なぎの木会館
37. はまぼう公園
38. ゴルフ場
39. 掛塚灯台・風竜
40. 竜洋海洋公園

天竜川河口上空から見る竜洋地区



発行・編集 磐田市教育委員会文化財課

〒438-0086 静岡県磐田市見付3678-1 TEL0538-32-9699

発行日 平成19年3月 平成21年2月改訂

掛塚まつりと掛塚祭屋台ばやし囃子ばやし（県指定文化財）

掛塚まつりは、貴船神社の神輿が町内を巡って御仮宮まで渡御し、再び神社に還御するもので、氏子の若衆が屋台を引いて神輿の供をして歩きます。

掛塚祭屋台囃子は、引き回される屋台の中で大太鼓、小太鼓、横笛等により演奏されます。優雅で静かな御公卿囃子、威勢のいい入船囃子など数種類あります。

言い伝えによれば南北朝時代、後醍醐天皇の皇子・宗良親王が遠江国井伊谷に向かうため、延元3年（1338）に伊勢の大湊を軍船で出航、遠江沖で暴風にあい遠州白羽湊に漂着しました。海難を逃れた宗良親王は、目的地の井伊谷に向かう途中、貴船神社の祭典に出会い、村人は貴人を迎え大いに歓待、皇子の前途の隆昌を祈願しました。この折りに、随員の中御門中納言某により、御公卿囃子が伝授されたのが始まりとされます。



市指定文化財 貴船神社神輿

明治14年（1881）に製作されたものです。長方形で破風造りであるところに特色があります。四方に御鏡が飾られており、この御鏡は元禄10年（1697）に製作されたものです。



市指定文化財 フタナリ船（二形船）

神輿の中に納められている船模型で、船首の形からフタナリと呼ばれています。



市指定文化財

掛塚祭屋台

江戸時代の掛塚は廻船業を中心として大変栄えていました。祭の屋台も豪華絢爛たるもので、信州諏訪の立川和四郎をはじめ、名工の刻んだ彫刻と精巧な刺繍を施した天幕で飾られ、当時の美術工芸の粋が結集されています。



大当町



新町



本町



砂町



中町



横町



蟹町



田町



東町(未指定)

市指定文化財 西洋型帆船模型

製作者・年代等は不明ですが、明治30年（1897）、貴船神社に奉納されました。





東大塚天竜川河床遺跡

平成6年に天竜川河床から多数の土器が発見され、主に奈良時代と中世の集落であることが確認されました。



締切跡(西堀緑地公園)

天竜川東派川締切跡

竜洋地区を縦断するように流れた天竜川東派川の締め切り工事は昭和10年(1935)から始められ、同19年(1944)に完成しました。この工事は食糧増産と明野陸軍飛行学校の分教場を水害から守るために行われました。

福長飛行場跡

福長兄弟は大正10年(1921)に(株)福長飛行機製作所を設立し、日本初の6人乗り旅客機「天竜10号」を製作しました。



福長兄弟

市指定文化財

白羽神社神輿

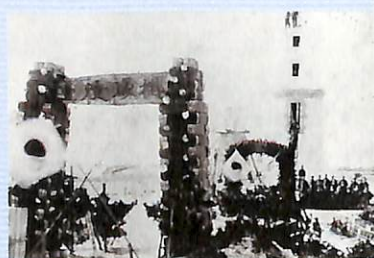
明治14年(1881)頃名古屋で製作されたものです。正方形の一般的な形式の神輿で市内でも古い神輿のひとつです。



掛塚灯台と風竜

旧幕臣の荒井信敬は天竜川河口付近で船が難破・座礁することに心を痛め、私財を投じ明治13年(1880)に灯台を建設しました。明治30年(1897)には官営の灯台が完成し、100年以上灯を点しましたが、平成14年、灯台は竜洋海洋公園南側へ移設されました。

風竜とは、竜洋しおさい風力発電所の風車の愛称です。高さ60mの風車と灯台は竜洋地区の新たな名所となっています。



掛塚灯台落成式



掛塚灯台と風竜

竜洋地区の歴史と文化財



市指定文化財

蓮覚寺山門

蓮覚寺山門は天保13年(1842)に建造された薬医門様式の門。蓮覚寺は安永元年(1175)に平清盛の長子、平重盛が遠江国守として在任中に開いた遠州三蓮寺の一つとして創建されたと伝えられます。



秋葉山常夜燈

浜松市(旧春野町)の秋葉山は、火防の神として知られる秋葉信仰の霊地で市内でも広く信仰されていました。掛塚は、木材の集積地であるとともに、加工職人も多く、秋葉信仰のシンボルである秋葉山常夜燈も龍燈式の立派なものが作られています。



市指定文化財

野崎秋葉山常夜燈

明治4年(1871)、野崎の大工棟梁・石川正作によって造られた龍燈式の常夜燈です。大正14年(1925)に改築しています。



市指定文化財

高木秋葉山常夜燈

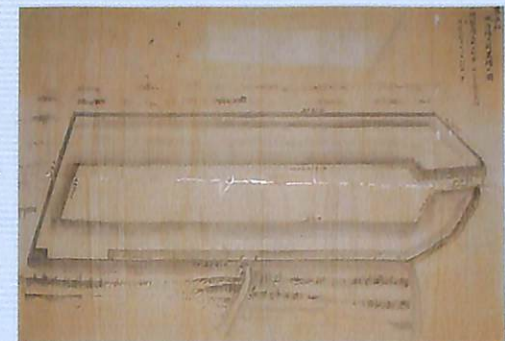
明治元年(1868)、十郎島の大工棟梁・曾布川藤次郎によって造られた龍燈式の常夜燈です。

明野陸軍飛行学校天竜分教場跡

昭和14年(1939)着工、同17年(1942)に完成しました。約200haの土地に滑走路2本、格納庫4棟、射撃場などが建てられ戦闘機パイロットが養成されました。土地の一部は、現在袖浦公園となっています。

掛塚港跡

天竜川の河口を利用した天然の港で、江戸時代中期以降、大型船は河口付近に停泊し、荷物は小船で親船まで運びました。しかし、水深は浅く、荷役設備も不完全であったことから明治16年(1883)から港の整備事業が始まり、同18年(1885)に完成しました。



掛塚港停泊・荷置場図